

## 平成 28 年度第 3 回高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の要旨

日 時：平成 29 年 2 月 21 日（月）18：30～20：20

場 所：公立学校共済組合高知宿泊所高知会館 4 階 やまもも

出席者：委員 9 名（今回の会議には、オブザーバーとして高知県病院薬剤師会と高知県臨床検査技師会から、それぞれ 1 名の出席あり）

### 議 事

#### （1）高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク事業平成 28 年度実績及び平成 29 年度事業計画について

平成 28 年度に充実した取組として、エリアネットワーク事業では全てのエリアで取組が行われたこと、医療関連感染対策相談対応事業は 3 件の相談実績だったことなどが事務局から報告された。

平成 29 年度の高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議については、病院薬剤師会、臨床検査技師会から委員として参加いただくことで、さらに医療関連感染対策の強化を図っていきたいこと、各エリアでの取組が充実してきたことから、委員の方々がエリアでの活動に積極的に取り組んでいただけるよう、定例会としては 3 回から 2 回の計画とするが、必要時には臨時会議を開催する等の説明が事務局よりあった。

<委員からの質問・意見等>

①健康対策課の清水課長に感染症ネットワークを作ったらと勧めている。AMRアクションプランにも書かれているし、病院薬剤師会、臨床検査技師会からも参加いただく予定なので、一緒に高知県の中で話ができればと考えており、29年度の事業に盛り込めたらと思っている。今日は清水課長が欠席なので、またの機会に話をしたい。

②Q：高知県医療関連感染対策ネットワーク会議の開催が 2 回になると、あまり議論できないのではないか。臨時会議が随時開催されるとのことだが、どんなことで開かれるのか。

→A：（事務局）明確に臨時会議の具体例を考えている訳ではないが、アウトブレイクの場合は確実に開催になる。来年度から 2 回としたこと理由の 1 つが今年度からエリア毎の取組が活発に行われるようになったことだが、そのなかで県全体で議論すべきことが出てくることも考えられる。病院薬剤師会、臨床検査技師会の委員に入ってくださいことで、新しい取組が必要となるかもしれないので、定例の会議は 2 回になるが、日頃から委員の皆様のお話を伺う機会に事務局が捉えて取組をしていきたいと考えているし、年 2 回となる変わり目でもあり、臨時会議が必要な事例があれば事務局にご連絡をいただきたい。

## 結 論

- 平成 29 年度の高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の定期開催は 2 回とするが、委員からの提案があった時や必要と判断された場合は随時開催する。

### (2) 高知県医療関連感染対策相談対応事業について

高知市エリアの病院より高知県医療関連感染対策相談対応事業の利用があり、高知市豊田副所長より、「前段に立入検査でも同じようなやりとりがあり、専門的なアドバイスを聞きたいとの希望があり相談票が提出された。現在実施している感染対策が効果的かどうかとの相談内容で、ICNの回答の順番の最初は医療センターの山崎さんと決まっていたので、回答案の作成をお願いし、メーリングリストで他の 7 名の ICNの方から意見をいただきまとめて、より分かりやすくなった。高知県医療関連感染対策相談対応事業の手順に沿って回答した。」と報告があった。

### (3) 医事薬務課ホームページの掲載内容について

事務局より現在の医事薬務課ホームページの掲載内容と今後の予定について説明があり、その中に感染制御専門家と感染管理の専門家と書かれているので、表現を揃えるべきか相談があった。また、医療関連感染対策 Q & A に追加予定の内容について説明があった。

## 結 論

- 医療関連感染対策のバナーにカツオ人間のキャラクターを使用して良いか、川村委員が確認し事務局に連絡する。
- 感染制御専門家、感染管理の専門家の表現については、感染管理の専門家に統一する。

### (4) エリアネットワーク活動について

前回の会議以降の取組や研修会のまとめ、年度内に予定されている意見交換会についての報告が各委員からあった。

#### ①安芸エリア

福永委員より、「病院と診療所を対象とした院内感染対策に係る地域ネットワークに関するアンケートの結果を受けて、1月20日に研修会を実施した。高知県立あき総合病院の川野上さんをお願いし、感染管理の基本の講演と个人防护具の着脱の実技を行った。基本であるが分かっていないところのおさらいができた。実技ではリアルにするためにケチャップをつけて行い、評判が良く手順の確認ができた。」と報告があった。

#### ②中央東エリア

有瀬委員より、「11月19日に診療所を対象に研修会を行った。講演は病院対象の研修内容を外来に変更した。参加者は40名で個別相談の時間を取ったが、5人位しか残らなかった。相談

内容は、「布タオルを毎回洗濯に出すと怒られる。」等の答えられない質問が多かった。」と報告があった。

### ③高知市エリア

豊田副所長より、「前回の会議で概要を話したが、資料がまとまったので説明させていただく。11月3日に研修会を開催し、導入の話をさせていただいた後、ICN8名の方々に講演いただき、第二部でICDの方々にも入ってもらいグループワークで現状や困っていることの話をした。65名の申込があり56名の参加があった。研修後のアンケートの結果では、無床診療所の看護師の参加が多く、半数の方が高知県医療関連感染対策相談対応事業のパンフレットを見たことがあり、8割の方が相談してみたいと回答があった。講演は殆どの方が参考になったと回答があり、どの講義内容も参考になり、半数の方が伝達講習予定との回答だった。高知市は診療所に立入検査をしていないので、このような機会に伝えることができ、保健所としても有意義な研修だった。」と報告があった。

福井委員から、「在宅や診療所との関わりがないので、我々も知識として持つておかなければならない。」、北村会長より、「医師の参加が少なかったが、グループワークでかなり積極的に疑問点を聞いていただけた。今後も引き続き実施していただけたらと思う。」と追加報告があった。

### ④中央西・須崎エリア

岩原委員より、「他エリアよりも遅れていたが、医療機関と特別養護老人ホームを対象に事前にアンケートを実施し、困っていることや希望する研修会のテーマ等について伺った。須崎福祉保健所からは、まだ結果をいただけていないが、アンケートにあった内容を取り上げたり、意見交換で質問していただく予定。」と報告があった。

#### <委員からの質問・意見等>

**①Q：**中央東エリア研修会の個別相談の内容について、立入検査で行っている福祉保健所からの外圧で改善できないか。

→A：(事務局) 高知市保健所、福祉保健所の担当者会で話をさせていただき、可能な範囲で指導させていただく。

#### (5) 高知県医療関連感染対策研修会について

事務局より、平成28年度第2回高知県医療関連感染対策研修会の報告と平成29年度第1回高知県医療関連感染対策研修会の内容について相談があった。

平成28年度第2回高知県医療関連感染対策研修会については、参加者は行政機関を除くと333人で臨床検査技師の方の参加が職員の人数の割に多かったこと、アンケート結果では、すぐに実践したい内容があった、委員会等で検討したい内容があったと85%の方が回答され、環境整備、グラム染色、抗菌薬などの内容が記載されていたこと等が報告された。

有瀬委員より、「講演を熱心に聞いていただけた。その場で質問は出なかったが、終わってか

ら質問に来られた方が複数名いた。」と追加報告があった。

<委員からの質問・意見等>

- ①平成28年度第2回高知県医療関連感染対策研修会は非常に好評だったので、また同じようなことができればと思う。
- ②次回の研修会の対象者は、管理者向けもいいが実践者向けで考えてはどうか。
- ③感染対策のコストについて啓蒙する必要がある。開設者に理解してもらわなければ進まない。
- ④Q：講師の予算はどの程度あるのか？複数の方に依頼は可能か。

→A：(事務局) 県内であれば複数の方に依頼することは可能だが、県外となるとそれぞれの研修会に1人。

- ⑤大阪のICNの森下幸子さんは現場を良く知っていて親しみやすい。
- ⑥厚生支局の指導を担当している方に来てもらい、診療報酬のことも含め話してもらうのも一つの手ではないか。

## 結 論

- 平成29年度第1回高知県医療関連感染対策研修会の講師は大阪のICNの森下幸子さんと厚生支局に講演していただけるよう依頼する。

## (6) 高知県病院薬剤師会、高知県臨床検査技師会の高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議への参加について

オブザーバーとして今回参加いただいた高知県病院薬剤師会の八木さんと高知県臨床検査技師会の森下さんを会長が改めて紹介した後、高知県病院薬剤師会、高知県臨床検査技師会共同事業「高知県感染対策・サーベイランス研究会」、高知県病院薬剤師会、高知県臨床検査技師会の高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議への参画について説明があった。

八木さんより、「高知県感染対策・サーベイランス研究会については、薬剤師と臨床検査技師で協働して、抗菌薬使用量や薬剤感受性率について専門的にサーベイランスを行う研究会で、抗菌薬使用量や薬剤感受性率に関わるエビデンスとデータの蓄積、発信、共有を目的にしている。現在の参加施設は23となり、カルバペネム系抗菌薬と緑膿菌に対する薬剤感受性率では全分離株において相関性が認められ、今後、医療関連感染対策のうえで耐性化抑制の観点から抗菌薬の使用量の議論が大事になってくると考えている。高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議への参画については、会議と研究会の連携を密に行い、今後データの集積、発信を行えていけたらと考えていて、平成29年度のワーキングの取組の中にサーベイランス部門を設立していただき、高知県内のデータを集積する目的で継続して取り組んでいけたらと考えている。さらにデータの評価、発信はエリアネットワーク活動や両会の研修会等を利用し、医療機関への周知、提供、共有を図りたい。」と説明があった。

<委員からの質問・意見等>

**①Q**：ICTとして重要な4職種の薬剤師と臨床検査技師の委員がいないので、まずは委員と  
なっていたきたいが、正式に参加していただけるのか。

→A：(事務局) 事務局から、それぞれの会長に相談し、来年度から正式に参加いただけると  
伺っている。年度内に手続きを終わらせる予定。

**②Q**：研究会には現在メーカーが協賛しているので、ネットワーク事業にはデータを病院薬剤  
師会、臨床検査技師会から出していただき、とりまとめは研究会でいただき、別個  
の形で取り組むことは可能か。

→A：(八木さん) 可能。実働は我々が動く形になると思う。メーカーには資金源の問題があ  
り関わってもらった。病院薬剤師会、臨床検査技師会の予算が通れば、平成29年は難し  
いが将来的には独立を考えている。

→(事務局) 非常に積極的にいただいたご提案と委員の意見をふまえ、両会と相談して  
形を作っていくと考えている。4月位に研究会と医事薬務課で話をした時は、参  
加医療機関は5か所だったが、今は参加医療機関も増え、ますますこれから活動が充  
実していく研究会だと思う。ネットワーク会議と研究会、病院薬剤師会、臨床検査技  
師会と一緒に取り組むことで、いろんな取組が可能になると思うので、ぜひ協力して  
やらせていただきたいし、次のネットワーク会議までそのままにするのではなく、今  
日の話を元に中身を組み立てた上で、次回の会議でより具体的な形で提案ができるよ  
うに準備したい。

**③Q**：サーベイランスワーキングを作るのか？

→A：(事務局) どんな形でするのかもあるし、例えば皆様のご了解をいただけるなら、ワー  
キングを作る想定で関係の方々と打ち合わせをして、次回のネットワーク会議までには、ワーキング的なものを1～2回したうえで、会議に臨むことも考えている。今年度もいくつかのワーキングの計画はしていて、なかなか計画通り進んでいないワーキングもあるが、今やるべきタイミングのところは力を入れてやるべきと思うので、皆様のご意見を伺って、後は会長とも個別に相談し準備をしたいが構わないか。

→(会長) 平成29年度事業計画に足していかなければならない部門がサーベイランス部  
門。AMR対策アクションプランにもあるので、清水課長にも来てもらいたかった。  
AMR対策アクションプランにある感染症のネットワークのチームを作ろうという  
こともあるし、緑膿菌のカルバペネム耐性率が2020年に10%以下という目標にもなっ  
ているので、高知県も2020年までにできれば達成できるよう、健康対策課と一緒に平  
成29年度の事業計画の中に医事薬務課と相談してサーベイランス部門を入れたいと  
思っている。

→(福永委員) 広範囲に及ぶので、健康対策課医事薬務課と一緒にやらないと難しい

と思う。そのためのデータとして非常にありがたい。

## 結 論

- 高知県病院薬剤師会、高知県臨床検査技師会に高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議に平成 29 年度から委員として参加いただく。
- 次回の高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議までに、高知県病院薬剤師会、高知県臨床検査技師会、ネットワーク会議委員、健康対策課と医事薬務課が調整し、サーベイランスワーキングを作る等、具体的な取組を決める。

## (7) その他

### ①高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク運営要綱改正案について

事務局より、新たに高知県病院薬剤師会、高知県臨床検査技師会から正式に委員に加わることで決定になったので、高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク運営要綱改正案について説明があり、委員の了承があった。

### ②歯科医師会からの高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議への参加、AMRアクションプランについて

会長より、「歯科医師会が委員に入っていないことが課題なので、歯科の感染対策も重要なので、一緒には議論できないかもしれないが、次回の会議で検討したい。AMRアクションプランについても清水課長と相談して、ネットワーク会議と一緒にやっていただきたいので、事務局と打ち合わせをしたい。」と提案があり、委員の了承があった。

## 事務連絡

- ・平成 29 年度第 1 回医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議の日程調整は、メールングリストで行う。